HYPER MO

HMO-1300USB2/HMO-640USB2 取扱説明書

3.5インチ光磁気ディスクドライブ

株式会社富士通パーソナルズ

HYPER MO

もくじ

はじめに

このたびは、HYPER MO光磁気ディスクドライブ（以下MOドライブユニットとします。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用いただく前に、必ず本書をお読みください。

保証書について

保証書は必要な事項が記入されているかをご確認ください。お買い上げ時に正しく記入されていない場合は保証書が無効になり、無償保証を受けられないことがございますので、充分ご注意ください。記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店様にお問い合わせください。
※添付品の「製造番号シール」を保証書にお貼りください。

お読みください

1. 本書は、制作元が著作権を有します。
2. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することを禁止します。
3. 本製品および本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
4. 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利につきましては、当社はその責を負いません。
5. 本書の内容および本製品に関しては、万全を期して作成および製造しておりますが、万一不審な点がございましたら、お問い合わせください。
6. 本製品を使用した結果の影響につきましては、5項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. また、6項に伴いシステム、データ、MOディスクなどの補償は、一切できかねます。更に、ソフトウェア・ハードウェアの故障・誤動作・その他いかなる理由によって発生した損失に関しても、補償は一切できかねますのでご了承ください。
8. 本製品は信頼性の高い部品で構成されていますが、不意の障害や事故が発生した場合にデータの復元が不可能になる場合があります。大切なデータ、プログラムを収めたMOディスクには、必ずライトプロテクトを行うようにしてください。さらに二重のバックアップを行うなど、安全策を心掛けてください。
9. 本製品は絶対に分解しないでください。分解されますと、お客様の財産に損害を与える事故が起きても補償できません。また、一度分解されますと故障した場合の修理は保証期間内であっても有償修理となります。
10. 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、この製品に関する技術相談やアフターサービスなども日本国外では行っておりません。
11. 本書にある商品名、名称などは、各社の商標または登録商標です。

MOディスクのフォーマット容量について

MOディスクに記載されている容量は、1MB＝1,000^{2}byteで計算されています。
ただし、Windows上でフォーマットするときやプロパティでMOディスクの容量を確認するときは、1MB＝1,024^{2}byteで計算されるため、表示される容量が異なります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生した損害に対して、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

株式会社　富士通パーソナルズ

HYPER
MO
取扱い上のご注意

取扱い上のご注意

ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

取扱説明書の表示について
次のような表示と内容により「取扱い上の注意」を説明していきます。必ずお読みの上、説明書の内容に沿って正しくお使いください。

警告　**この表示は「使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示しています。**

注意　**この表示は「事故や故障、損害などが起きる可能性がある内容」を示しています。**

絵記号の意味

この表示は「注意・警告を促す内容」を示しています。

この表示は「禁止事項を促す内容」を示しています。

この表示は「しなければならない内容」を示しています。

警告

本製品を取り付ける際には、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが指示する警告・注意の指示を守ってください。

分解しないでください。	本機は例えネジ一本でも絶対に分解しないでください。 分解されますと、機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。 その際に発生する、いかなるお客様の損害に対しても一切補償できません。
電源は、専用ACアダプタで使用してください。	ACアダプタは必ず専用のものを使用してください。 また、ACアダプタはAC100V（50Hz／60Hz）・国内用です。 海外や特殊な電源装置（電圧変換インバータ、発電器など）からの供給によるご使用は絶対にしないでください。またタコ足配線はしないでください。機器の破損・故障、あるいは火災・電気的なトラブルなど重大な事故の原因となります。
異常が発生したとき。	本体から異臭や煙、発火が発生した場合や近くで雷が発生した場合には、直ちに電源をOFFにし、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
異物を入れないでください。	本体内部には高圧な電気が流れている部分や、機械的な動作をする部分などがあります。 異物が入るとショートや機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となりますので絶対に入れないでください。 水など液体が入ったり浸水してしまうと機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。また場合によっては、修理不可能となる場合があります。 万が一異物が入ってしまった場合は、分解したり無理に取り出したりせずに、修理としてご依頼ください。
ACアダプタのプラグは確実に根元まで差し込んでください。	差し込みが不完全な場合、隙間にほこりや異物が入り火災の原因となります。 また、抜く場合はプラグを持って抜いてください。ケーブルを持って抜くと損傷・故障、あるいは火災・電気的なトラブルなど重大な事故の原因となります。
装置の電源ケーブルの抜き差しは丁寧にしてください。	電源ケーブルは破損しないように十分にご注意ください。 ケーブル部分を持っての抜き差しや、物が乗ったり、鋭い物に当たっていたりすると、ケーブルの被覆が損傷し、故障、あるいは火災・電気的なトラブルなど重大な事故の原因となります。
濡れた手で取り扱うのは危険です。	濡れた手で、本体の取扱いをしたり電源ケーブルやUSBケーブルの抜き差しをすることは絶対にしないでください。機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。
水分や湿気の多い場所では使用しないでください。	風呂場など、水分や湿気の多い場所では本体を使用しないでください。火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。
イジェクトピンの取扱い注意。	イジェクトピンは、幼児が誤って飲み込まない様、幼児の手の届かないところに保管してください。

⃠	**強い磁気や強い電波が発生しているものには近づけないでください。**	磁石のような磁気を発するものや、無線機のような電波を発するものを近づけないでください。誤動作をする可能性があります。
⃠	**落としたりぶつけたりしないでください。**	動作時・輸送時に落としたりぶつけたりして、強い衝撃や振動を与えると故障や破損する可能性があります。
⃠	**MOディスクを入れたまま移動しないでください。**	動作中やMOディスクを入れた状態で本体を移動しないでください。MOディスクに損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずMOディスクを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
⃠	**電波の影響する機器には近づけないでください。**	この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害の原因となる場合がありますので、近づけないように設置してください。また、電波に影響される機器にも近づけないようにしてください。機器に誤動作をさせる可能性があります。
⃠	**快適な場所に設置してご使用ください。**	振動の大きい場所、ホコリのひどい場所、薬品の噴霧中でのご使用及び設置はしないでください。故障の原因となります。
⃠	**湿度や温度の厳しい場所や状態で使用しないでください。**	極端な高温（低温）状態や高湿度な場所、直射日光の当たる場所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くでの使用はしないでください。故障の原因となります。また、急激な温度変化は結露の原因となり動作させると故障の原因となりますので、周囲の温度との差がなくなってからご使用ください。
❗	**設定や接続の変更や操作は電源をOFFにしてから行ってください。**	接続をしたり変更したりする場合には必ず周辺機器全ての電源をOFFにした状態で行ってください。本体の設定をしたり変更したりする場合には必ず本体の電源をOFFにした状態で行ってください。電源ONの状態で取扱いをすると、故障の原因となります。
❗	**MOディスクを読み書きしてるときは、そのままにしてください。**	ライトキャッシュの機能によってパソコン上では書き込みが終了しても、本体は動作を続けています。本体のアクセスランプが点灯している状態で電源を切ったり、イジェクトを行わないでください。MOディスクの物理的な破損およびデータ破壊、本体の破損や故障の原因となります。
❗	**データのバックアップを取ってください。**	MOディスクへの読み書き動作中に不意の障害や事故が発生した場合、MOディスクの読み書きおよびデータの復元が不可能になる可能性があります。万一のためにバックアップを行うように、安全策を心掛けてください。また、大切なデータ、プログラムを収めたMOディスクには、必ずライトプロテクトを行うようにしてください。
	移動する場合は。	機器の移動を行う場合は、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。電源コード・ACアダプタが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。
⃠	**物を置かないでください。**	本製品の上に物を置かないでください。傷がついたり故障の原因となる場合があります。
⃠	**MOディスク以外のものを挿入しないでください。**	ディスク挿入口にMOディスク以外のもの（フロッピーディスクなど）を挿入すると故障や破損する可能性があります。

HYPER
MLO
ご使用の前に

ご使用の前に

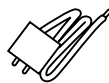
動作環境

対応機種		富士通 FMVシリーズ NEC PC98-NXシリーズ OADG仕様のDOS/V対応パソコン Apple Macintoshシリーズ
対応OS	USB1.1	WindowsXP／WindowsMe／Windows2000／Windows98（Second Edition含む） MacOS8.6～10.1（MacOS10.0は未対応）
	USB2.0	WindowsXP／WindowsMe／Windows2000／Windows98（Second Edition含む）
制限事項		・USBインタフェース標準搭載機種のみ対応 ・USB2.0で使用する場合、USB2.0インタフェース標準搭載のパソコンまたは弊社動作確認済みのUSB2.0対応インタフェースをお使い下さい。 ・各対応OSはプレインストールのみ動作保証します。 ・PC本体のUSBポートまたはUSB2.0対応インタフェース（カードorボード）直結のみ動作保証します。 ・MacintoshではUSB1.1での動作となります。 ・MacOS10.0には対応しておりません。MacOS10.04以上へのアップデートが必要です。 ・USBインタフェースは全てのUSB機器での動作を保証するものではありません。 ・最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.personal.fujitsu.com）をご参照ください。

梱包内容

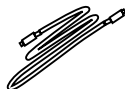
以下のものが梱包されていることを、お確かめください。万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店までお申しつけください。

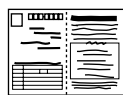
MOドライブユニット本体1台

縦置スタンド1個

ACアダプタ1個

取扱説明書（本書）保証書付1部

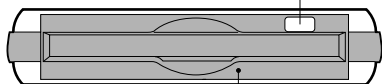
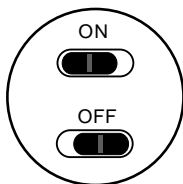
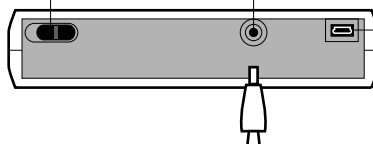
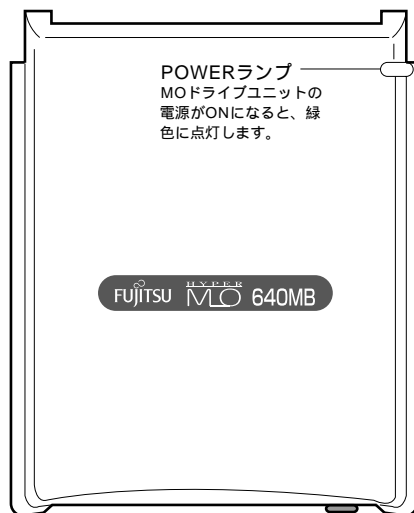
イジェクトピン1本

HYPER MOシリーズ
デバイスドライバ
（CD-ROM）1枚

USBケーブル1本

製造番号シール1枚

ビー・エイチ・エー
ユーザ登録ハガキ

※製造番号シールは保証書に必ず貼ってください。

1　機器の説明

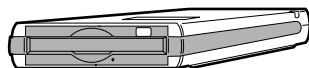
1-1 各部の名称とそのはたらき

※図はHMO-640USB2を使用しています。

1-2 機器の取扱いについて

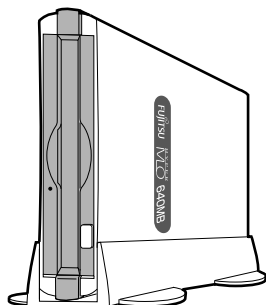
1-2-1 MOドライブユニットとMOディスクの取扱い

MOドライブユニットの取扱い

MOドライブユニットの設置方向

横置きのデザインになっていますが、付属のスタンドをご使用の場合縦置きでもご利用できます。付属のスタンド以外で縦置きにしますと、不安定となりMOドライブユニットの破損にもなりかねますので、付属のスタンド以外では縦置きで設置しないでください。

MOディスクの取扱い

MOディスクのラベルについて

MOディスクにラベルを貼る場合には、必ず専用のラベルを決められた位置に貼付してください。また、貼付する面は汚れや油分などをきれいに拭き取っておいてください。専用のラベル以外のものを貼付したり、貼り直しや、貼付する面が汚れていると剥がれの原因となり、場合によってはMOドライブユニットの内部に貼り付いてしまい、排出が困難となります。この場合無理に取り出そうとせず、お買い上げの販売店様に修理をご依頼ください。

1-2-2 使用時の注意

MOドライブユニットの動作中（アクセスランプ点灯中）にUSBケーブルを抜き差ししないでください。

MOドライブユニットの動作中（アクセスランプ点灯中）にMOディスクを取り出したり(イジェクトボタン又はアイコンの右クリックでの排出など)、パソコンをスタンバイ、サスペンド等省電力モードに移行しないでください。

USB機器で音楽、動画を再生中（リアルタイム動作中）にMOドライブユニットを動作させると大きな負荷がかかるため再生が停止、中断したりリスタートしたりすることがあります。

1-2-3 メンテナンス

ＭＯドライブユニットおよびＭＯディスクは、ゴミ、ちり、ほこり、タバコの煙や灰などの付着によって性能が低下したり、場合によっては装置の故障の原因となります。安全にご使用いただくには、ＭＯドライブユニットおよびＭＯディスクを定期的に掃除する必要があります。

①MOドライブユニットのお手入れ

まず、ＡＣ電源ケーブルをコンセントから外してください。本体の汚れは、やわらかい布によるカラ拭きか、水または中性洗剤を含ませてよく絞った布で軽く拭いてください。
揮発性の溶剤（ベンジン、シンナー）等の使用は、変形や変色などの原因となりますので避けてください。

②MOドライブユニットの清掃

３カ月に一回を目安に、専用クリーナーを使って清掃します。
◆クリーニングの目安とする期間は使用する環境や頻度によって異なります。

	品　名	商品番号
富士通コワーコ㈱	光磁気ディスククリーニングカートリッジ *	**0240470**

*お買い求めの際には、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。

③MOディスクの清掃

３カ月に一回を目安に、専用クリーナーを使って清掃します。
◆クリーニングの目安とする期間は使用する環境や頻度によって異なります。

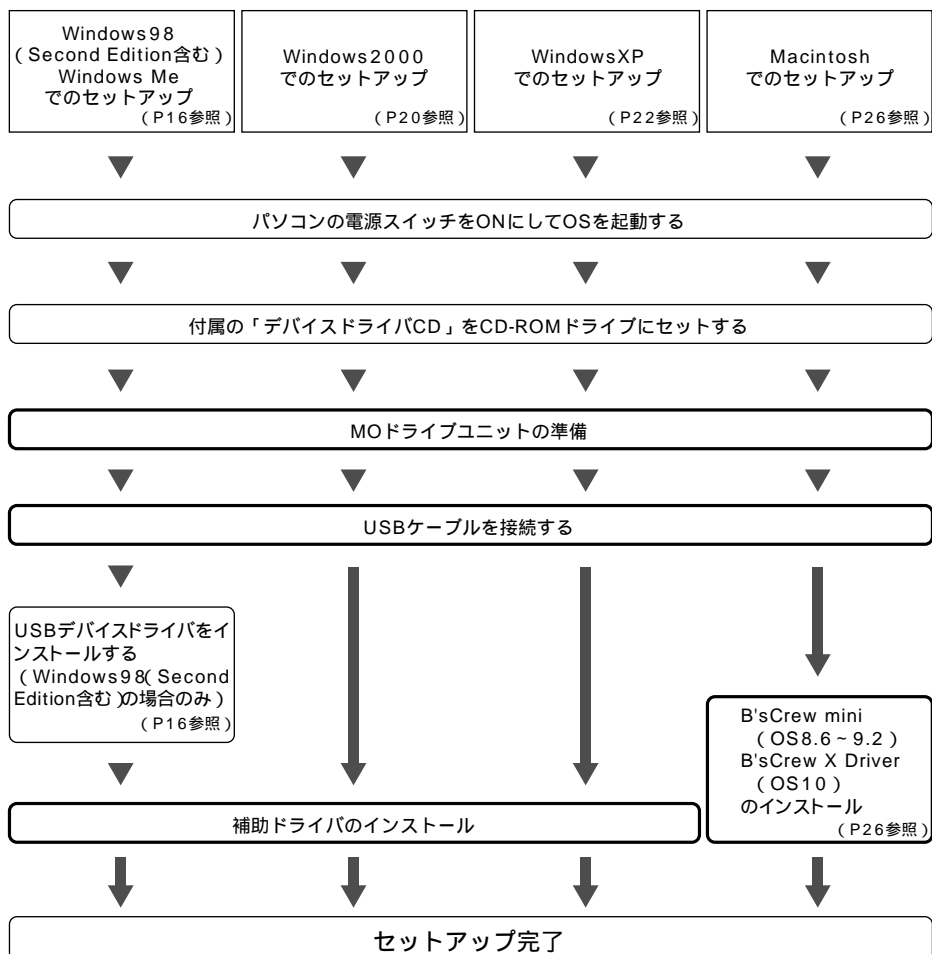
	品　名	商品番号
富士通コワーコ㈱	光ディスククリーニングキット（3.5型）*	**0632440**
	光ディスククリーニングキット（補充用）*	**0632450**

*お買い求めの際には、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。

2 MOドライブユニットのセットアップ

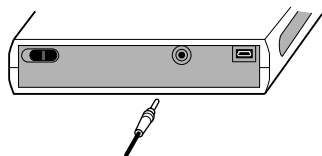
2-1 セットアップのながれ

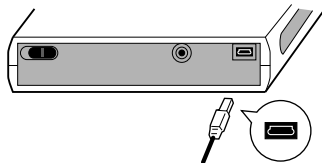
セットアップ手順は、次の通りになります。

セットアップは、パソコンに搭載されたOSに沿ってお進みください。インストール方法はOS毎に画面・操作が異なりますので、OS毎のセットアップ手順を参照してください。

2-2　MOドライブユニットの準備

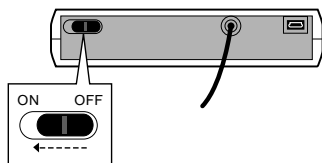
MOドライブユニットをパソコンへ接続する前にまずMOドライブユニットを準備の上、以下の手順に従ってください。

①ACアダプタの準備

本製品に付属のACアダプタジャックをMOドライブユニットのDC INに接続してください。次に、ACアダプタのプラグを電源コンセントに接続してください。その際にはMOドライブユニットの電源がOFFになっていることを確認してから接続してください。

②USBケーブルの接続

本製品に付属のUSBケーブル（Bポート）をMOドライブユニットのUSBポートに接続してください。その際、USBコネクタの形状を確認してください。

注意　パソコンへの接続は各OSでのセットアップの際に説明しますのでここでは接続しないでください。

③MOドライブユニットの電源を入れます。

ACアダプタ、USBケーブルの接続が完了しましたら、MOドライブユニットの背面にあります電源スイッチをONにしてください。背面から見て右がOFF、左がONとなっています。

注意　電源を投入するまでMOディスクを挿入しないでください。故障の原因となる可能性があります。

この後は、各OSでのセットアップを行ってください。

2-3 Windows98（Second Edition含む）／WindowsMeでのセットアップ

2-3-1 パソコンとの接続

パソコンとの接続と操作の手順は、以下の説明に沿って行ってください。この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。
※パソコンの機種やOSなどの環境により、表示される様子、内容が若干異なる場合があります。説明では、パソコンのCD-ROMドライブがＥドライブ、インストールするハードディスクがCドライブという環境を想定しています。ご使用になるパソコンの環境によって、ドライブ名が説明と異なる場合がありますので、ご使用の環境に合わせて行ってください。

①デバイスドライバCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

付属のCD-ROM（HYPER MOシリーズデバイスドライバ）をCD-ROMドライブにセットしてください。

②MOドライブユニットとUSBケーブルの接続

MOドライブユニットに付属のACアダプタのジャックを差し込み、ACアダプタをコンセントに接続します。
MOドライブユニットにUSBケーブルを差し込んでください。
MOドライブユニットの電源スイッチをONにします。

③パソコンとの接続

MOディスクがMOドライブユニットに挿入されている状態での接続はしないでください。
パソコンのUSB端子にUSBケーブルを接続します。

2-3-2 USBデバイスドライバのインストール

WindowsMeの場合

MOドライブユニットが接続されると自動的にOS標準のドライバがインストールされます。
［マイコンピュータ］を開くと、［リムーバブルディスク］のアイコンが表示されます。
P.18の 2-3-3 補助ドライバのインストールへ進んでください。

Windows98（Second Edition含む）の場合

①MOドライブユニットが接続されると［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動します。

②「次へ」をクリックします。

③［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

④［検索場所の指定］にチェックをし、［参照］をクリックします。

⑤ドライバ情報ファイルのあるフォルダの場所を指定します。
［MO driver (E: CD-ROMのドライブ番号)］から［DOSV］－［USB］－［Win98］－［Driver］の順に階層を下り、［Driver］を選択し、［OK］をクリックします。

⑥検索場所の指定が完了した後、［次へ］をクリックします。

⑦あとは画面の指示に従ってください。Windowsに必要なファイルがコピーされ、デバイスドライバのインストールは完了です。

［マイコンピュータ］を開くと、［リムーバブルディスク］のアイコンが表示されます。

続いて補助ドライバのインストールを行います。
P.18の［補助ドライバのインストール］へ進んでください。

2-3-3 補助ドライバのインストール（Windows98（Second Edition含む）／WindowsMe）

付属のCD-ROM（HYPER MOシリーズデバイスドライバ）の補助ドライバをパソコンにインストールします。MOドライブを快適にお使いいただくために必ず補助ドライバのインストールを行ってください。

①［マイコンピュータ］より［CD-ROMドライブ］を選びます。次に［DOSV］のフォルダがありますので開いてください。

Windows98（Second Edition含む）の場合

WindowsMeの場合

②［DOSV］フォルダの中の［USB］を開きます。

WindowsMeの場合

［WinMe］フォルダを開きます。

Windows98（Second Edition含む）の場合

［Win98］フォルダを開きます。

③［Setup］をクリックしてください。［補助ドライバ（MO Supplement）］のセットアップ画面が現れます。

④あとは画面の指示に従って進めてください。

⑤ファイルがコピーされ、再起動を促すメッセージが表示されますので、［完了］をクリックしてOSを再起動してください。

以上でセットアップは完了です。

2-4 Windows2000でのセットアップ

2-4-1 パソコンとの接続

パソコンとの接続と操作の手順は、以下の説明に沿って行ってください。この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。

①デバイスドライバCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

付属のCD-ROM（HYPER MOシリーズデバイスドライバ）をCD-ROMドライブにセットしてください。

②MOドライブユニットとUSBケーブルの接続

MOドライブユニットに付属のACアダプタのジャックを差し込み、ACアダプタをコンセントに接続します。

MOドライブユニットのUSBコネクタにUSBケーブルを差し込んでください。

MOドライブユニットの電源スイッチをONにします。

③パソコンとの接続

MOディスクがMOドライブユニットに挿入されている状態での接続はしないでください。

パソコンのUSB端子にUSBケーブルを接続します。

MOドライブユニットが接続されると自動的にOS標準のドライバがインストールされます。［マイコンピュータ］を開くと、［リムーバブルディスク］のアイコンが表示されます。

2-4-2 補助ドライバのインストール

■注意

補助ドライバのインストールはadministrator権限でログオンしてから行ってください。

付属のCD-ROM（HYPER MOシリーズデバイスドライバ）の補助ドライバをパソコンにインストールします。インストールの手順は、以下の説明に沿って行ってください。

※パソコンの機種やOSなどの環境により、表示される様子、内容が若干異なる場合があります。説明では、パソコンのCD-ROMドライブがEドライブ、インストールするハードディスクがCドライブという環境を想定しています。ご使用になるパソコンの環境によって、ドライブ名が説明と異なる場合がありますので、ご使用の環境に合わせて行ってください。

①［マイコンピュータ］より［CD-ROMドライブ］を選びます。次に［DOSV］のフォルダがありますので開いてください。

②［DOSV］フォルダの中の［USB］を開きます。次に［WIN2K］を開きます。

③［MOSUPPLE］をダブルクリックしてください。［補助ドライバ（MO Supplement)］のセットアップ画面が現れます。

④あとは画面の指示に従ってインストールを行ってください。

⑤ファイルがコピーされ、再起動を促すメッセージが表示されますので［はい］をクリックしてOSを再起動してください。

以上でセットアップは完了です。

2-5 WindowsXPでのセットアップ

2-5-1 パソコンとの接続

パソコンとの接続と操作の手順は、以下の説明に沿って行って下さい。
この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。

①デバイスドライバCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

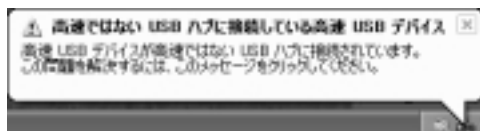
付属のCD-ROM（HYPER MOシリーズデバイスドライバ）をCD-ROMドライブにセットしてください。

②MOドライブユニットとUSBケーブルの接続

MOドライブユニットに付属のACアダプタのジャックを差し込み、ACアダプタをコンセントに接続します。
MOドライブユニットのUSBケーブルを差し込んでください。
MOドライブユニットの電源スイッチをONにします。

③パソコンとの接続

MOディスクがMOドライブユニットに挿入されている状態での接続はしないで下さい。
パソコンのUSB端子にUSBケーブルを接続します。
MOドライブユニットが接続されると自動的にOS標準のドライバがインストールされます。［マイコンピュータ］を開くと、［リムーバブルディスク］のアイコンが表示されます。

※USB1.1のインタフェースのみ搭載されているパソコンに本機を接続するとタスクバーのステータス表示領域に以下のようなメッセージが表示されます。

これは本機がUSB2.0（High Speedモード）対応商品の為、表示されます。USB1.1インタフェースに接続するとUSB1.1の速度で動作するようになっております。

2-5-2 補助ドライバのインストール

■注意
補助ドライバのインストールは［コンピュータの管理者］アカウントでログインしてから行ってください。アカウントの種類を確認するには［コントロールパネル］－［ユーザーアカウント］で確認することができます。

付属のCD-ROM（HYPER MOシリーズデバイスドライバ）の補助ドライバをパソコンにインストールします。インストールの手順は、以下の説明に沿って行ってください。
※パソコンの機種やOSなどの環境により、表示される様子、内容が若干異なる場合があります。説明では、パソコンのCD-ROMドライブがEドライブ、インストールするハードディスクがCドライブという環境を想定しています。ご使用になるパソコンの環境によって、ドライブ名が説明と異なる場合がありますので、ご使用の環境に合わせて行ってください。

①［マイコンピュータ］より［CD-ROMドライブ］を選びます。次に［DOSV］のフォルダがありますので開きます。

②［DOSV］フォルダの中の［USB］を開きます。次に［WINXP］を開きます。

③［MOSUPPLE］をダブルクリックしてください。[補助ドライバ（MO Supplement for XP）のセットアップ画面が現れます。

④あとは画面の指示に従ってインストールを行ってください。

⑤ファイルがコピーされ、再起動を促すメッセージが表示されますので、[はい］をクリックしてOSを再起動してください。

以上でセットアップは完了です。

参考

●本製品のドライバが正常にインストールされると、[デバイスマネージャ］に次のデバイスが追加されます。

使用OS	追加場所	追加デバイス名
Windows98 （SecondEditionを含む）	ユニバーサル　シリアル バス　コントローラ	USB Storage Adapter V3（TPP）
	ディスクドライブ	FUJITSU MCM3064UB ※1 FUJITSU MCM3130UB ※2
	ハードディスクコントローラ	Storage Adapter Bridge Module（TPP）
Windows Me	ユニバーサル　シリアル バス　コントローラ	？USB大容量記憶装置デバイス ※3
	ディスクドライブ	FUJITSU MCM3064UB ※1 FUJITSU MCM3130UB ※2
	記憶装置	USBディスク
Windows2000/XP	USB（Universal Serial Bus） コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
	ディスクドライブ	FUJITSU MCM3064UB USB Device ※1 FUJITSU MCM3130UB USB Device ※2
	記憶域ボリューム	汎用ボリューム

※1　HMO-640USB2使用時に表示されます。

※2　HMO-1300USB2使用時に表示されます。

※3　WindowsMeでは緑色の丸に白抜きの？マークが表示されています。これはWindowsMeが標準のドライバをインストールしたためです。本製品は正常に動作しておりますので、そのままご使用ください。

●デバイスマネージャの表示方法
Windows98（SecondEditionを含む）/WindowsMe：
［マイコンピュータ］を右クリックー［プロパティ（R）］－［デバイスマネージャ］を開きます。
Windows2000：
［マイコンピュータ］－［コントロールパネル］－［システム］－［ハードウェア］のタブー［デバイスマネージャ］を開きます。
WindowsXP：
［スタート］－［マイコンピュータ］を右クリックー［プロパティ（R）］－［ハードウェア］のタブー［デバイスマネージャ］を開きます。

備考 WindowsXP環境で本製品を接続すると、初期設定ではWindowsとMOドライブユニットの間で書き込みキャッシュが有効になっていない為、本来の性能を出すことができなくなっております。書き込みキャッシュを有効にするには［デバイスマネージャ］の［ディスクドライブ］より［FUJITSU MCM3130UB USB Device］※のプロパティを開きます。

［FUJITSU MCM3130UB USB Deviceのプロパティ］から［ポリシー］タブをクリックし、［パフォーマンスのために最適化する］にチェックを入れてください。

※画面はHMO-1300USB2の場合です。HMO-640USB2の場合は、［FUJITSU MCM3064UB USB Device］と表示されます。

2-6 Macintoshでのセットアップ

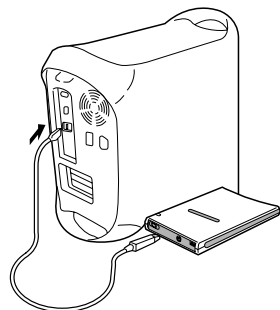
2-6-1 Macintoshとの接続

Macintoshとの接続と操作の手順は、以下の説明に沿って行ってください。この手順通りに行わないと、正常に動作しない場合があります。

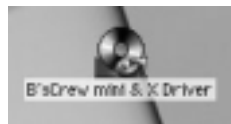
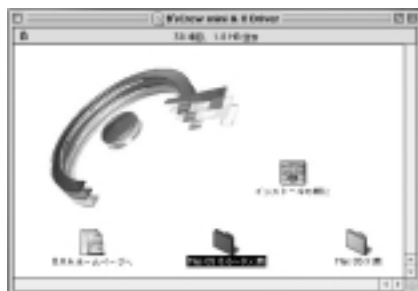
①MOドライブユニットとUSBケーブルの接続

MOドライブユニットに付属のACアダプタのジャックを差し込み、ACアダプタをコンセントに接続します。
MOドライブユニットのUSBコネクタにUSBケーブルを差し込んでください。
MOドライブユニットの電源スイッチをONにします。

②Macintoshとの接続

MacintoshのUSB端子にUSBケーブルを接続します。※

※USBコネクタの形状をよく確認してから接続してください。
注）MOディスクがMOドライブユニットに挿入されている状態での接続はしないでください。

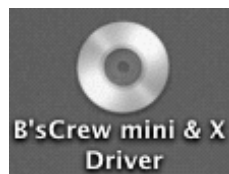
MacOS8.6～9.2の場合

①付属のCD-ROM［HYPER MOシリーズデバイスドライバ］をCD-ROMドライブにセットしてください。
デスクトップ上に［B'sCrew mini & X Driver］のアイコンが現れます。

②「B'sCrew mini & X Driver」のアイコンをダブルクリックし、［インストールの前に］をダブルクリックしてください。インストール方法、注意事項をよくお読みのうえ進めてください。
［B'sCrew mini & X Driver］のフォルダより［MacOS8.6～9.X用］をダブルクリックしてください。

③［B'sCrew mini installer］のアイコンをダブルクリックしてください。

④あとは画面の指示に従って進めてください。

MacOS X の場合

B'sCrew X Driverのインストール

①CD-ROMドライブに「HYPER MOシリーズデバイスドライバ」をセットします。デスクトップ上に「B'sCrew mini & X Driver」のアイコンが現われます。

②「B'sCrew mini & X Driver」のアイコンをダブルクリックし、[インストールの前に］をダブルクリックしてください。インストール方法、注意事項をよくお読みのうえ進めてください。
［B'sCrew mini & X Driver］のフォルダより［Mac OS X用］をダブルクリックしてください。

③［B'sCrewXDriver.dmg］をダブルクリックしてください。デスクトップ上に［B'sCrewXDriver］のアイコンが表示されますのでダブルクリックして開いてください。

④開いた［B'sCrewXDriver］の中から［B'sCrew X Driverをインストール］をダブルクリックしてください。インストーラが立ち上がり、インストールが始まります。

⑤［認証］の画面が表示されますので、カギマークをクリックし、MacOSをセットアップした時のパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。

⑥インストールの画面になりますので、画面の指示に従って進めてください。
続けていくとインストール先を選択する画面が表示されますので、「Macintosh HDD」を選択し、[続ける]をクリックしてください。

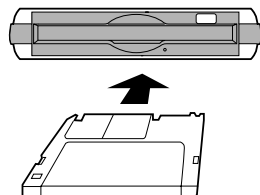
⑦後は画面の指示に従って進めてください。

以上でセットアップは完了です。

3　本製品の使い方

3-1 MOドライブユニットの使い方

①MOディスクの挿入

ディスク挿入口からMOディスクを入れます。「カチッ」という音がするまで押し込んでください。MOディスク挿入直後、アクセスランプが数秒間点灯します。この間に装置はMOディスクの管理状態をチェックして、読み書きを行う準備をしています。（3秒〜10秒程度）

②MOディスクの排出

●イジェクトボタンによる排出

本製品のアクセスランプが消灯していることを確認し、イジェクトボタンを押します。

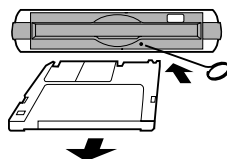
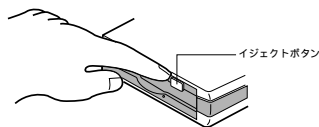
注）Macintoshの場合はイジェクトボタンによる排出はできません。

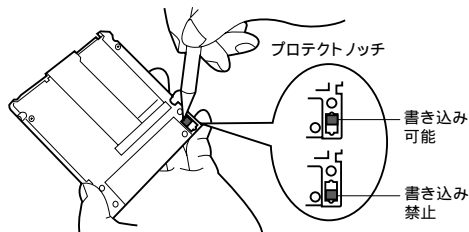
イジェクトボタン

●イジェクトピンによる排出

何かの不具合により通常の方法で排出できなくなったときは、強制イジェクトホールにイジェクトピンを入れて排出します。

まず、MOドライブユニットの電源スイッチを切った状態にしておきます。

強制イジェクトホールにイジェクトピンを入れて、やや強めに押して排出します。

③MOディスクの書き込み禁止

MOディスクに書き込んだデータを誤って消去しないため、MOディスクの書き込みを禁止することができます。MOディスクの裏面のプロテクトノッチを書き込み禁止の位置に移動します。書き込む場合は書き込み可能の位置に移動します。

3-2 MOディスクのフォーマット

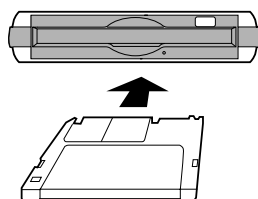
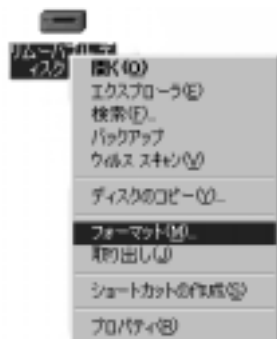
Windows環境の場合

■注意

●フォーマットするとMOディスク内のデータは全て消去されます。フォーマットする前に消去してもよいデータか必ず確認してください。

●Windows２０００ではMOディスクのフォーマットはadministrator権限でログオンしてから行ってください。

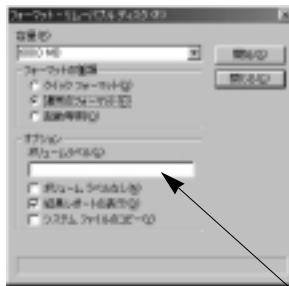
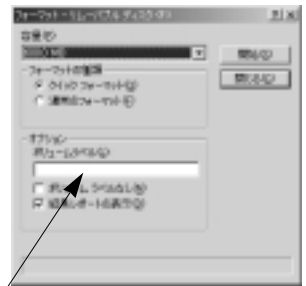
●WindowsＸＰでは［コンピュータの管理者］アカウントでログオンしてから行ってください。

①MOディスクをMOドライブユニットに挿入します。

②デスクトップ上にある［マイコンピュータ］を開き、ドライブアイコンの一覧から［リムーバブルディスク］を選択します。マウスを右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

③一覧の中から、［フォーマット］を選択してクリックすると、フォーマット画面が表示されます。

④フォーマットの設定を行います。

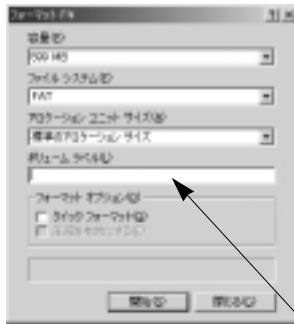
Windows98（Second Edition含む）、WindowsMeの場合

［フォーマットの種類］を選択し、［開始］ボタンをクリックします。

Windows 98（Second Edition含む）の場合

Windows Meの場合

※ボリュームラベル：必要に応じて入力します。（最大半角英字11文字）

Windows2000、WindowsXPの場合

［ファイルシステムの形式］を選択し、［開始］ボタンをクリックします。

Windows2000の場合

WindowsXPの場合

※ファイルシステム：フォーマット形式を選択します。
ただし、MOディスクはNTFS形式でフォーマットしないでください。
※ボリュームラベル：必要に応じて入力します。（最大半角英字11文字）

⑤警告メッセージが表示されますので、メッセージを確認し、フォーマットを続行してよければ、［OK］をクリックしてください。フォーマットが開始されます。

⑥フォーマットが正常に終了すると完了のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

Macintosh環境の場合

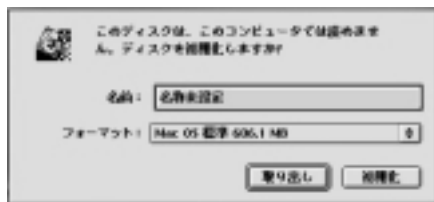
■注意

フォーマットするとMOディスク内のデータはすべて消去されます。フォーマットする前に消去してもよいデータか必ず確認してください。

MacOS8.6～9.2の場合

①MOディスクをMOドライブユニットに挿入します。フォーマットを行っていないMOディスクを挿入すると、デスクトップに[初期化メニュー]が表示されます。フォーマット済のMOディスクをフォーマットしなおす場合は、MOディスクを選択して、「アプリケーションメニュー」で「Finder」を選択し、「特別」メニュー内の「ディスクの初期化」を選択してください。

②名前の欄に任意の名称を入力してください。このMOディスクの名称はOSが管理します。

③フォーマット形式を選択します。[Mac OS標準]もしくは[Mac OS拡張]を選択してください。フォーマットしていないMOディスクは、MOドライブユニットにMOディスクを挿入し、[初期化]をクリックし、フォーマットを行ってください。

④[初期化]をクリックすると、フォーマットが開始されます。

⑤フォーマットが正常に終了すると、MOディスクのアイコンがデスクトップ上に表示されます。

■注意

Macintoshのフォーマット形式は、[Mac OS標準]または[Mac OS拡張]をおすすめします。[Mac OS拡張]はOSがMac OS8.01より以前のシステムでは使用できません。[DOS]フォーマットは640MB以上のMOディスクの場合、Windows環境ではご使用になれません。[Universal Disk Format]は使用しないでください。

※B'sCrew miniを使用した場合

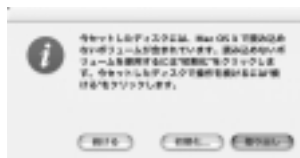
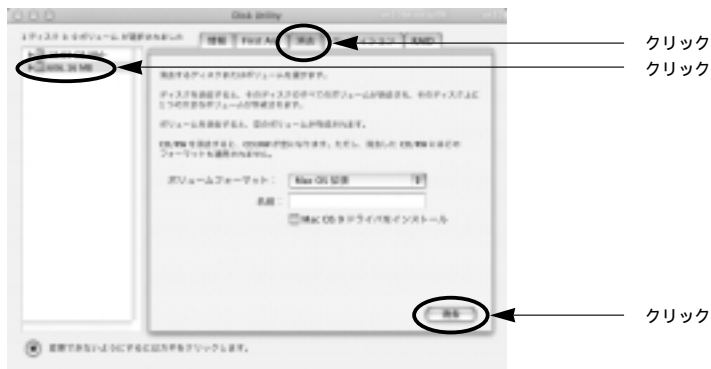
①B'sCrew miniを起動します。
［アップルメニュー］より［B'sCrew mini］を選択してください。

②ドライブを選択し、初期化のアイコンをクリックしてください。

③［パーティションタイプ］を選択します。
［MacOS標準］もしくは［MacOS拡張］を選択し、［OK］をクリックしてください。

④初期化実行のメッセージが表示されますので、初期化する場合は［OK］をクリックしてください。

MacOS Xの場合

①MOディスクをMOドライブユニットに挿入します。フォーマットを行っていないMOディスクを挿入すると、デスクトップに[初期化メニュー]が表示されます。フォーマット済のMOディスクをフォーマットしなおす場合は、［Macintosh HD］内の［Applications］内の［Utilities］内の［Disk Utility］を選択してください。

②MOドライブを選択し、［消去］タブをクリックしてください。
［ボリュームフォーマット］を選び、［消去］ボタンをクリックしてください。

（図はMac OS10.1の場合です。）

③消去が完了した後、［Disk Utility］を終了してください。

■注意

Macintoshのフォーマット形式は、[Mac OS標準]または[Mac OS拡張]をおすすめします。[Mac OS拡張]はOSがMac OS8.01より以前のシステムでは使用できません。[DOS]フォーマットは、640MB以上のMOディスクの場合、Windows環境ではご使用になれません。[Universal Disk Format]は使用しないでください。

3-3 MOディスクの排出

Windows環境の場合

①［マイコンピュータ］を開き、リムーバブルディスクのアイコンを右クリックしてください。

②ショートカットメニューの中の［取り出し］を選択し、クリック してください。

③MOドライブユニットからMOディスクが排出されます。

■注意

1）MOドライブユニットのアクセスランプが点灯している状態での排出は絶対にしないでください。

2）開いているファイルは、必ずファイルを閉じてから、MOディスクの排出を行ってください。

Macintoshの場合

MacOS8.6〜9.2の場合

①デスクトップ上にあるMOディスクのアイコンをドラッグし、ゴミ箱へ移動してください。

②MOドライブユニットからMOディスクが排出されます。

■注意

1）MOドライブユニットのアクセスランプが点灯している状態での排出は絶対にしないでください。

2）開いているファイルは、必ずファイルを閉じてから、MOディスクの排出を行ってください。

3）MOドライブユニットのイジェクトボタンではMOディスクの排出はできません。

MacOS Xの場合

①デスクトップ上にあるMOディスクのアイコンをドラッグし、ゴミ箱へ移動してください。

②MOドライブユニットからMOディスクが排出されます。

■注意

1）MOドライブユニットのアクセスランプが点灯している状態での排出は絶対にしないでください。
2）開いているファイルは、必ずファイルを閉じてから、MOディスクの排出を行ってください。
3）MOドライブユニットのイジェクトボタンではMOディスクの排出はできません。

3-4 MOドライブユニットの取り外し

パソコン起動中にMOドライブの電源を切ったり、USBケーブルを抜くときは以下の操作を行ってください。

注）必ずアクセスランプが消灯していることを確認して、MOディスクを排出した状態で行ってください。

Windows環境の場合

①MOドライブユニットにMOディスクが入っている場合は、MOディスクを排出してください。

②タスクバーのステータス領域に表示されているアイコンをクリックします。

Windows98（SecondEdition含む）：

WindowsMe　：

Windows2000：

WindowsXP　：

③表示されたメニューから次のメッセージをクリックしてください。

Windows98（SecondEdition含む）：
［FUJITSU MCM3064UBを止める］
（HMO-1300USB2の場合はMCM3130UBと表示されます。）

WindowsMe　：［USBディスク-ドライブの停止］

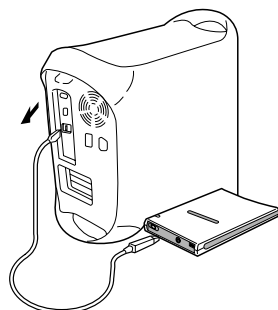
Windows2000：［USB大容量記憶装置デバイス-ドライブを停止します］

WindowsXP　：［USB大容量記憶装置デバイス-ドライブを安全に取り外します］

④取り外しの処理が完了した旨のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。その後パソコンからUSBケーブルを取り外してください。

Macintosh環境の場合

①MOドライブユニットにMOディスクが入っている場合は、MOディスクを排出してください。

②MacintoshのUSB端子からUSBケーブルを取り外します。

4 補足

4-1 デバイスドライバのアンインストール

●ドライバのアンインストール
ドライバが不要になったときは、次の手順で削除してください。
本製品を使用し続けるときはドライバは削除しないでください。

Windows98（SecondEdition含む）の場合

①MOドライブユニットの取り外しを行ってください。（MOドライブユニットの取り外しは P.39　MOドライブユニットの取り外しの項目を参照）
次にパソコンからUSBケーブルを外してください。
［マイコンピュータ］より、［コントロールパネル］を選び、［アプリケーションの追加と削除］を選びます。

②［MO Supplement］を選び、［追加と削除］をクリックしてください。

③あとは画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。

④同様に［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］を選びます。

⑤［USB Storage Adapter V3(TPP)］を選び、［追加と削除］をクリックしてください。

⑥あとは画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。

WindowsMe、Windows2000、WindowsXPの場合

■注意

Windows2000、WindowsXPでドライバのアンインストールを行うときは［administrator］権限または［コンピュータの管理者］アカウントでログオンしてから行ってください。

補助ドライバのアンインストール

①MOドライブユニットの取り外しを行ってください。（MOドライブユニットの取り外しはP.39　MOドライブユニットの取り外しの項目を参照）
次にパソコンからUSBケーブルを外してください。
［マイコンピュータ］より、［コントロールパネル］を選び、［アプリケーションの追加と削除］を選びます。※

（図はWindows2000の場合です。）

※ WindowsXPでは[プログラムの追加と削除]となります。

②［MO Supplement］を選び、［削除］をクリックしてください。
※WindowsMeの場合は［追加と削除］をクリックしてください。

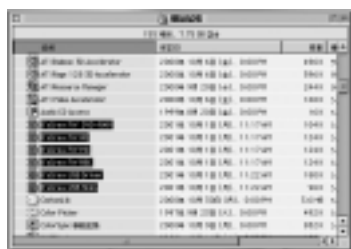
③あとは画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。

MacOS8.6〜9.2の場合

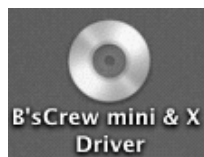
①MOドライブユニットの取り外しを行ってください。（MOドライブユニットの取り外しは、P.38　MOドライブユニットの取り外しの項目を参照）
次にパソコンからUSBケーブルを外してください。
［Macintosh HD］をダブルクリックします。

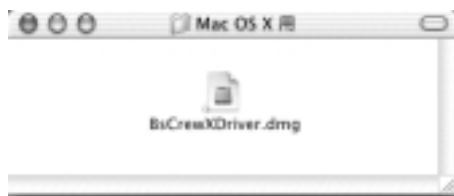
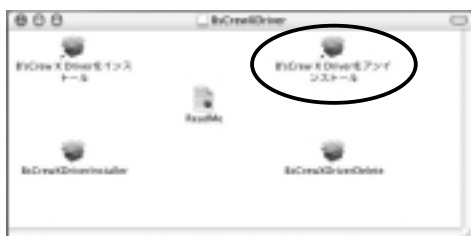
②［B'sCrew mini］のフォルダをゴミ箱へドラッグしてください。

②さらに［Macintosh HD］内の［システムフォルダ］をダブルクリックし、次に［機能拡張］をダブルクリックします。

③［B'sCrew FW DVD-RAM］、［B'sCrew FW HD］、［B'sCrew FW MO］、［B'sCrew FW RBC］、［B'sCrew USB Driver］、［B'sCrew USB Shim］をゴミ箱へドラッグしてください。

MacOS Xの場合

B's Crew X Driverのアンインストール

①CD-ROMドライブに「HYPER MOシリーズデバイスドライバ」をセットします。デスクトップ上に「B'sCrew mini & X Driver」のアイコンが現われます。

②「B'sCrew mini & X Driver」のアイコンをダブルクリックし、［MacOS X用］をダブルクリックしてください。

③［B'sCrewXDriver.dmg］をダブルクリックしてください。デスクトップ上に［B'sCrewXDriver］のアイコンが表示されますのでダブルクリックして開いてください。

④開いた［B'sCrewXDriver］の中から［B'sCrew X Driverをアンインストール］をダブルクリックしてください。アンインストールが始まります。

⑤［認証］の画面が表示されますので、カギマークをクリックし、MacOSをセットアップした時のパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。

⑥アンインストールの画面になりますので、画面の指示に従って進めてください。
続けていくとインストール先を選択する画面が表示されますので、「Macintosh HDD」を選択し、[続ける]をクリックしてください。

⑦後は画面の指示に従って進めてください。

⑧アンインストールが終了したら、ウィンドウを閉じ、［B'sCrewXDriver］のアイコンをゴミ箱にドラッグした後、［B'sCrew mini & X Driver］のアイコンをゴミ箱にドラッグしてCDを排出してください。

4-2 MOドライブユニットの機能

4-2-1 オーバーライト機能

これまでは、MOディスクにデータを書き込みする場合［消去］→［書込み］→［ベリファイ］の3ステップが必要で、書き込みの遅さがMOディスクの弱点とされていました。しかし、オーバーライト対応MOディスクを使用することにより、書き込み動作は［オーバーライト］→［ベリファイ］の2ステップになり、回転待ち時間も減少します。オーバーライト機能を使うことにより、書込み速度は約30%アップします。本MOドライブユニットは、この機能に対応しておりますのでこの快適さを実感することができます。

オーバーライト機能の使用上の注意

オーバーライト機能はオーバーライト対応MOディスクが必要です。
従来のMOディスクを使用した場合は、従来と同じ書き込み速度になります。
オーバーライト対応MOディスクは、この機能に対応していないMOドライブユニットでは使用できません。

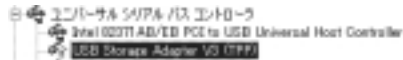
	ディスク容量	品　名	商品番号
富士通コワーコ㈱	640MB	光磁気ディスクカートリッジMOW640*	**0243710**
	540MB	光磁気ディスクカートリッジMOW540*	**0243510**
	230MB	光磁気ディスクカートリッジMOW230*	**0243310**

*お買い求めの際には、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。

4-2-2 メディアID機能

ブロードバンドコンテンツの配信に対応した、著作権保護機能。メディアID機能に対応した配信サービスは2002年より本格スタートします。詳細は弊社ホームページ（http://www.personal.fujitsu.com/）をご覧ください。

4-3 トラブルシューティング

質　問	確　認	対　処
Q1.（Windows98（Second Edition含む）） MOを接続したがマイコンピュータにアイコンが出てこない。 	①MO装置の電源が入っていますか？	①MO装置の電源を入れてください。
	②ケーブルは接続されていますか？	②ケーブルを正しく接続してください。
	③［マイコンピュータ］—［コントロールパネル］—［システム］—［デバイスマネージャ］のタブを開き、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］に［USB Storage AdapterV3 (TPP)］が表示されていますか？	③以下の手順でご確認ください。 MOドライブユニットの電源を入れた状態でパソコンにUSBケーブルを接続します。 ［マイコンピュータ］から［コントロールパネル］の［システム］をクリックし、［システムのプロパティ］の［デバイスマネージャ］を開きます。 ［その他のデバイス］に[USB Magneto-Optical Device]と表示されている場合は、削除してください。 その他のデバイス USB Magneto-Optical Device パソコンよりUSBケーブルを取り外してWindowsを再起動し、P.16を参照し、デバイスドライバのインストールを行ってください。 また、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］に[USB Storage AdapterV3 (TPP)]が！マーク表示されている場合は、削除してください。 その上でP.42を参照し、[USB Storage AdapterV3 (TPP)]のアンインストールを行ってください。 ユニバーサル シリアル バス コントローラ Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller USB Storage Adapter V3 (TPP) アンインストールが完了した後、P.16を参照し、デバイスドライバのインストールを行ってください。
Q2.（全OS共通） MOディスクをフォーマットすると、MOディスクのパッケージなどに記載の容量よりパソコン上では少なく表示される。		MOディスクのパッケージなどに記載の容量の表示は、「1KB＝1000バイト」として計算されたものとなっていますが、パソコン上では、「1KB＝1024バイト」として計算されます。また、フォーマットを行うとディスク情報を保存する為に、ある程度の領域が使用されます。以上２点により、フォーマット後にはディスクの容量表記よりも下回った数値（例えば640MBのMOディスクの場合は約600MB）となります。

質　問	確　認	対　処
Q3.（Windows98（Second Edition含む）／WindowsMe） MOディスクのフォーマットができない。 MOディスクに対してファイルのコピーができない。	①MOディスクがライトプロテクトされていますか？	①ライトプロテクトをはずしてください。 ②ライトプロテクトがされていない場合は以下の手順を行ってください。 ［マイコンピュータ］―［コントロールパネル］―［システム］―［デバイスマネージャ］のタブを開きます。［ディスクドライブ］をダブルクリックします。 FUJITSU MCM3130UB（1.3G） FUJITSU MCM3064UB（640M） を選択し右クリックして［プロパティ］を表示してください。 ［同期データ転送］にチェックがついている場合、チェックをはずしてみてください。
Q4.（Windows98／（Second Edition含む）／WindowsMe） デバイスドライバをインストール中に「エラー？ストリング変数の文字数に対して、充分な大きさがありません。ストリング宣言をしてください。」とメッセージがでた場合。	①Windowsの［地域］が日本語以外になっている。	①［マイコンピュータ］―［コントロールパネル］―［地域］のアイコンをクリックします。設定が日本語以外になっている場合、日本語に変更してOSを再起動させた後、再度デバイスドライバのインストールを行ってください。 （WindowsMeの場合、「言語」を「日本語」に「国／地域」を「日本」に設定してください。）
Q5.（Windows2000/XP） Windows2000/XPでMOディスクのフォーマット・イジェクト、デバイスドライバのインストール・アンインストールができない。	Windowsにログオンするときにadministrator*権限もしくはコンピュータの管理者アカウントでログオンしていますか？	administrator*権限もしくはコンピュータの管理者アカウント以外でのログオンではMOディスクのフォーマット・イジェクト、デバイスドライバのインストール・アンインストールはできません。これは、OS（Windows）が管理者以外のユーザーに対して不用意にシステムを変更しないように制限を付けているために発生します。 *administrator：システム管理者・管理権限を持つユーザーの事
Q6.（全OS共通） WindowsでフォーマットしたMOディスクがMacintoshで読めない。		WindowsでフォーマットしたMOディスクでMacOSと互換性のある容量は、128MB～540MBです。640MB以上のMOディスクはMacOSとの互換はありません。

質　問	対　処
Q7.（Windows98（Second Edition含む）／WindowsMe／Windows2000／WindowsXP） Windowsでディスクコピーができない。	ショートカットメニューにあるディスクコピーはMOディスクに対しての使用はできません。
Q8.（Windows98（Second Edition含む）／WindowsMe／Windows2000／WindowsXP） MOディスクに対してFDISKを行ったらディスクの容量が4分の1になってしまった。	MOディスクは、FDISKに対応しておりません。
Q9.（Windows98（Second Edition含む）／WindowsMe／Windows2000／WindowsXP） MOディスクに対して、ドライブコンバータ（FAT32）ができなかった。	MOディスクに対して、ドライブコンバータ（FAT32）は実行できません。
Q10.（Windows98（Second Edition含む）／WindowsMe／Windows2000／WindowsXP） MOディスクの空き容量はあるのにファイルを保存できない。 MOディスクをフォーマットし、HDDからMOに複写しましたが、全ファイルコピーされていません。 MOディスクにはまだ空きがあるのに、ファイルを約500個程コピー後、エラー表示し残りのファイルはコピーされません。	FAT16（FAT）形式でフォーマットされたMOディスクの場合、ルートディレクトリに記録できるファイルの数には上限があります（ロングファイル名のファイルがない場合に最大512個）。 その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダの作成を行ってください。 作成されたフォルダ内ではファイル数の制限はありません。
Q11.（Windows98（Second Edition含む）／WindowsMe／Windows2000／WindowsXP） 省電力モードからの復帰時やホットプラグでの接続時などにドライブのアイコンが表示されない場合がある。	・パソコンを再起動してみてください。 ・USBコネクタを再度抜き差ししてください。または別のUSBポートに接続してみてください。 ・USBハブ経由で接続している場合は、パソコン本体のUSBポートに接続してください。
Q12.（Windows98（Second Edition含む）） PCカード接続のCD-ROMドライブが接続された状態でMOドライブユニットをホットプラグで接続した後リブート（OSの再起動）をした際にMOドライブユニットが正常に動作しない。	リブート（OSの再起動）する際は、MOドライブユニットをPCのUSBコネクタから取り外し、OSの再起動後に再度接続してください。また、OSを終了させ、PCの電源を切断後、電源を再投入する場合は、同時接続されていても問題ありません。
Q13.（Mac OS） MOドライブユニットにMOディスクを挿入した状態でOSを起動するとMOディスクが正常に読み取ることができない。	MOディスクをMOドライブユニットから取り出します。その後MOドライブユニットのUSBケーブルをPCのUSBコネクタから取り外し、再度接続しなおしてください。

4-4 製品サポート・修理について

サポートについて

本製品でお困りの場合には、「ハイパーセレクションサポートセンター」までお問い合わせください。本製品に関する基本的なご質問にお答えいたします。

●ご質問の一例
・MOドライブユニットの使い方がわからない
・使い方は間違っていないと思うのだが、どうも調子がおかしい。
・MOドライブユニットの調子が悪いが、故障しているのかどうかわからない。　など

お問い合わせ先 ……………………………………………………………………………

株式会社富士通パーソナルズ
ハイパーセレクションサポートセンター
0120-65-8180
受付時間：　月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
9:00～12:00／13:00～17:00まで
E-Mail：hyper@personal.fujitsu.com

製品に関する情報やQ＆Aは富士通パーソナルズ・インターネットホームページにも掲載されておりますので、ご利用ください。

富士通パーソナルズ・インターネットホームページ
ホームページアドレス　http://www.personal.fujitsu.com/

Macintosh用デバイスドライバB's Crewに関するお問い合わせ先 ………………

株式会社ビー・エイチ・エー
TEL　06-4861-8235　FAX　06-6378-3336
受付時間：　月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
10:00～12:00／13:00～17:00まで

修理について

故障と思われる症状が発生した場合には、まずマニュアルを参照し、接続、設定、操作が正しいかご確認ください。
明らかに故障していると思われる場合には、巻末に掲載しております「修理用状況記入カルテ」を記入し本カルテと保証書と本製品をお買い上げの販売店へお持ちください。
故障かどうか不明な場合は、富士通パーソナルズハイパーセレクションサポートセンターへご相談ください。

4-5 製品仕様

<table>
<tr><td colspan="2">型　番</td><td>HMO-1300USB2</td><td>HMO-640USB2</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">対応MOディスク</td><td colspan="2">3.5インチカートリッジ型　ISO標準フォーマット光ディスク媒体</td></tr>
<tr><td>128MB／230MB／540MB／640MB／1.3GB</td><td>128MB／230MB／540MB／640MB</td></tr>
<tr><td colspan="2">（1.3GB、128MBを除きオーバーライトディスク対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">回転数（±0.1%）</td><td>5,455rpm
（1.3GB使用時3,637rpm）</td><td>5,455rpm</td></tr>
<tr><td colspan="2">平均シークタイム</td><td>23ms</td><td>23ms</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッファ容量</td><td colspan="2">2MB</td></tr>
<tr><td rowspan="2">周囲環境</td><td>動作時</td><td colspan="2">温度　5～35℃（勾配10℃／h以下）
湿度　10～85%（結露しないこと）</td></tr>
<tr><td>保管時</td><td colspan="2">温度　0～50℃（勾配10℃／h以下）
湿度　10～85%（結露しないこと）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">耐振性</td><td>動作時</td><td colspan="2">振動　0.3G（5～500Hz）
衝撃　2.0G（10ms）</td></tr>
<tr><td>保管時</td><td colspan="2">振動　1.0G（5～500Hz）
衝撃　5.0G（10ms）</td></tr>
<tr><td colspan="2">MTBF</td><td colspan="2">100,000時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">インタフェース</td><td colspan="2">USB2.0対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">コネクタ</td><td colspan="2">USB miniB（5ピン）</td></tr>
<tr><td colspan="2">電　源</td><td colspan="2">専用ACアダプタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">消　費　電　力</td><td colspan="2">平均7W以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">外　形　寸　法</td><td colspan="2">122（W）×162（D）×34（H）mm（突起部分含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">重　量</td><td colspan="2">約530g（スタンド含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">VCCIクラスB取得</td></tr>
</table>

※USB2.0で規定されているHigh Speedモードで使用するにはUSB2.0に対応したパソコン本体または弊社動作確認済みのUSB2.0インタフェースボード（カード）が必要です。
※本製品の内容および製品仕様・外観は予告なく変更されることがあります。

保証規定

1. 保証期間内に取扱説明書その他の注意書きに従った正常な使用状態のもとで万一故障した場合、本保証規定に従って無償で修理させていただきます。ただし、保証期間内でも次のような場合には、有償での修理となります。
   (1)本保証書のご提示がない場合
   (2)本書にお客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合、また字句を書き替えられた場合
   (3)ご使用上の誤り、または当社以外の修理や改造、誤接続による故障および損傷
   (4)火災、地震、風水害、落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス等（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用等による故障および損傷
   (5)消耗品の取り替え
   (6)接続している他の機器、および不適当な消耗品やメディアの使用に起因して本製品に生じた故障および損傷
   (7)お買い上げ後の輸送や移動および落下等、不適当な取り扱いにより生じた故障および損傷
2. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
3. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 本書は、本製品を使用したことによって万一お客様が被った損害等を保証するものではありません。

＜サービス記録＞

年 月 日	サービス内容	担 当 者

保　証　書

製品名	
製造番号	
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日
保証期間	ご購入年月日より１年間
お客様　ご住所	〒
お客様　お名前	（ふりがな）
お買上販売店（住所・店名）	

本書は本書記載の保証規定によって、製品の無償修理を行うことをお約束するものです。本書のご購入年月日、お客様名、販売店が記入されていない場合、無効となります。よくご確認の上、大切に保管してください。保証期間中に製品に故障が発生した場合には、お買上の販売店へ、故障品に本書を添えてご持参の上、修理をご依頼ください。

株式会社富士通パーソナルズ
Tel　0120－65－8180

HMO-1300USB2/HMO-640USB2　**取扱説明書**
発行日・版数｜2001年11月・1版
株式会社富士通パーソナルズ
Printed In Japan